

マスコミの司法報道

我が国の国家統治の基礎である司法はすでに正義の府を具現化していない。仕組みが腐って来ています。

官庁の出した情報を垂れ流すだけの地方含めた、三流マスコミは「大本営発表」と同じ腐臭を放つ。墮落した司法の仮面を信じる一般大衆は、基本的人権を犯されているのです。

民事訴訟を提起することは「裁判所で白黒をつける」こと



とです。

裁判において、新判例は「新しい法律が制定された」に等しいものです。

「国又は公共団体の公権力の行使に当る公務員が、その職務を行うについて、故意又は過失によつて違法に他人に損害を加えたときは、国又は公共団体が、これを賠償する責に任ずる。2 前項の場合において、公務員に故意又は重大な過失があつたときは、国又は公共団体は、その公務員に対して求償権を有する。」と国家賠償法にはある。しかし実態は、戦後の政権下で、税務当局を見ても肌寒い状況です。

アヒルの実験

5秒に一度エサが有る場所と、10秒に一度エサが有る場所の二カ所が有る場合、3分の2が5秒へ、残り3分の1が10秒を選択した。単純には5秒に一度がエサが多いのですが、一方に偏ると分け前が少なくなる。10秒に一度を3分の1が動物的直感で判断しています。

正しい判断は経営者が自分で考え、感じたことを軸に「降臨」してくる判断が成功をもたらします。

西川経営のブランドは「人」

現代の人間観と哲学は、自己利益、個別利益の増大を目指すのではなく、社会全体の利益拡大をどのように確保し、目指すのかでしょう。

当事業所に於いても、社会貢献をいかに実現するかです。

そこに事務所の「使命」が始めるからあると思っています。

既存の「権力」です。闘う相手は強者、

台風18号の直撃をのがれ、

大きな被害が石川県に、持たされない事を祈りたい。

大きな災害を受けると、風景が変わります。心まで変わります。

災害立国の日本は、太古から力を合わせ、自然を征服するでなく、折り合ってきましました。

神の啓示と考え、身を律することで切り開きたい。

イベント案内・白山市商工課

○10月9日

○11日

○J R 松任

駅前

○白山市物

産市を開催



・我々は、子孫が今日を回顧する時、ひそかに感謝と敬慕の念を禁じ得ぬ祖先で

あります。友によって切磋琢磨するので。

・互いに自ら問い、自ら答えよ 自分

相田みつをさんの詩に

生かされる祖先

とあります。

は卑怯ではないか、怠惰ではないか、無知ではないか

あなたがそこにただいるだけで

・師によって自己を知るの

この場の空気が明るくなるあなたがそこにただいるだ

けで みんなのところがやすらぐ そんなあなたに わたしもなりたいたい

とあります。

人は生きづまることとは。自分が行きづまったと思ったときだけなんです。

祖先様は「なにクソ」が生き甲斐なんです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年10月8日 (木) N065

地域から明るい未来を作ろう